当社は、光造形装置の開発メンバーにより1996年に設立され、3 D プリンターを生業としています。 2006年末に自社装置 SEMplice シリーズを発表し、現在は第三世代装置 RaFaEl II の製造販売を行っています。



株式会社アスペクト

## 🌣 得意な技術・製品

RaFaEl シリーズ

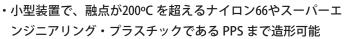
- ・粉末床溶融結合技術を用いた3Dプリンターで樹脂粉末や金属粉末を一層ずつレーザーで溶融しながら立体を造形するハイエンドの3Dプリンター
- ・粉末床溶融結合装置は、各種 3 D プリンターの中でも最終製品と同じ材料で造形でき、自動車・航空機や一般製造業で使用されています。
- ・RaFaEl で使用される樹脂粉末や金属粉末材料の開発

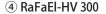


2015DMS

## 🌣 主要な技術・製品

- 1 RaFaEl II 550
- 最大の特徴は、550×550×500 mm の大きなワークサイズで 高走査速度15m/ 秒と生産性世界一のシステム
- 2 RaFaEl II 300
- ・中型ワークサイズの装置。レーザービーム径をΦ 0.30 mm に絞り込み、高精細造形が可能
- ③ RaFaEl II 150HT





・真空下で金属粉末を溶融・焼結できる粉末床溶融結合装置。 同装置では Ti-Al 6 -V 4 粉末や AlSi10Mg 等の金属をプロセス できます。



R II 550C

- ■生産拠点、研究体制:研究開発拠点:テクニカルセンター(東京都多摩市)東京大学生産技術研究所や産業技術総合研研究所と共同研究を行っています。
- ■主要設備: SEMplice/RaFaEl/RaFaEl II 550C 6台、RaFaEl/RaFaEl II 300C 3台、RaFaEl-HV 300 1台、SEMplice 300F 1台、RaFaEl II 150HT 1台
- ■得意な顧客、市場分野:四輪二輪自動車関連メーカー、航空宇宙関連メーカー、機械製造メーカー、医療分野
- ■主要取引先(企業名)、顧客構成:東京都立産業技術研究センター、マツダ(株)、(株)本田技術研究所、トヨタ紡織(株)、 (株)デンソー、ヤマハ発動機(株)、川崎重工業(株)、(株)リコー
- ■今後開発・獲得したい技術、挑戦したい産業分野

技術→粉末床溶融結合技術で使用可能な PEEK や PBT 等のスーパーエンプラ材料の開発を行い、材料の多様化を図ります。 産業分野→今までは、主に自動車・航空機・重工業中心でしたが、今後は微細加工化に伴い電子機器・家電業界に挑戦します。

- ▶取得資格、認証(ISO 等): ISO9001 認証取得予定(2016年)
- ▶受賞履歴(直近3~5年以内):2012年東京都ベンチャー技術大賞受賞

カブシキガイシャ アスペクト

## 株式会社 アスペクト

- ●資本金:3,000万円 ●従業員数:45人 ●設立年度:1996年
- ●連絡窓口(名前):有本惠勇 ●所属団体: 3 Dプリンター振興協議会

所在地: 〒206-0802 東京都稲城市東長沼3104-1-101

電話: 042-370-7900 FAX: 042-370-7901

<Eメール> rq@aspect.jpn.com

<ホームページ> http://aspect.jpn.com/